

Mランドニュース Vol.214

丹波ささ山校 令和7年2月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 前川 昂希

<https://www.sasayama-ds.com/>

E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

しあわせはいつも

自分のところが決める

相田みつを

あれから三十年

代表取締役社長

井階 正義

今から三十年前の、平成七年一月十七日(火)、午前五時四十六分、阪神・淡路大震災が発生しました。

六十三年の人生の中で、あの地震ほどの恐ろしさや怖さを感じたことは、後にも先にも一度もありません。震源地から丹波篠山市までは約六十五km離れています。その揺れはかなり激しく、長男は飛び起き、長女は驚き号泣、次女は爆睡、私はダンスを押さえていました。相当な揺れを感じましたが、周り近所倒壊や火災は無く、一安心したことを覚えています。

当時、弊社は通学専門の教習所で、毎週火曜日は定休日でしたので、当日の業務には支障はありませんでした。翌日は通常営業。繁忙期に入り始めておりました。ライフラインはほぼ問題なく供給されておりましたが、電話は不通。連絡がとれない不便さが何日か続きまし。現在のように、携帯電話

もそれほど普及しておらず、メールやラインもなく、電話の重要性を知ることとなりました。

数日経つと、篠山地域に大型自動車の往来が急増え始めました。この地が大阪や京都へのう回路となり、あちこちで大渋滞が発生していました。さらに、道路が狭く路肩が崩れ、田畑への車両転落も起きていました。当所にも影響があり、路上教習をしている教習車や送迎にでているバスが決められた時間に到着しないことも多々ありました。また、阪神間で被災された方が、転校を余儀なくされ、当所で免許取得に向けて努力されている姿も見受けられました。

今年で阪神・淡路大震災から三十年。これまで多くの地震や災害を目の当たりにしてきましたが、その都度、人と人の助け合いの大切さを再認識してきました。一月十七日も当時の教訓を思い出す大切な一日。助け合い、支え合い、誰かに寄り添うことを忘れることなく、今年も前を向き、元気に顔晴って参ります。

新年ビンゴ大会!!

営業部 部長

近藤 正幸

一月四日の仕事始めに、お楽しみイベントとして、ビンゴ大会を開催しました。景品が見つからないように隠している社長室は、普段はオープンにしていますが、珍しく閉まっていることに気付いた職員は期待をしていたかもしれません(笑)。

役員一同、年末に商品を準備し、職員の笑顔 pensando 浮かべながら全員に行き渡るよう工夫しました。



BINGO!! どれにしようかな～

さまざまな景品が当たり、笑顔があふれる和やかな時間となりました。笑顔とともに新年をスタートできたことは、良い一年の滑り出しにつながると確信しています。



楽しそうな笑顔みせる職員

今年には巳年です。「脱皮」を象徴する蛇のように、私達も今ある現状に満足することなく、新たな挑戦と成長を続ける一年にしたいと考えています。

全職員が笑顔で力を合わせ、より良い明るい未来を目指して頑張ってください。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ペットボトルキャップのご報告

昨年の十一月、第十六回Mランドフェスタを開催致しました。天候にも恵まれ多くの皆さまにお越しいただき、楽しいひとときを共に過ごせましたこと、今も脳裏に浮かんでまいります。

一昨年に引き続き、フェスタと併行して実施いたしま

した「ペットボトルのキャップで助けられる命があります」にご協力いただき誠にありがとうございました。この活動は、ペットボトルキャップ約六二〇個(約1.3kg)でポリオワクチン一人分として、発展途上国の子供たちの命を救うことが出来ます。

一昨年は、約二七八〇〇個(55.6kg)約四三人分、昨年は約三五八〇〇個(74.5kg)集まり、約五七七分のワクチンを送ることが出来ました。飲み終えたペットボトルのキャップをただのゴミにするよりも、ポリオワクチンに有効活用することが人にも地球にも優しい活動になります。これからもMランドはこの活動を支援し、継続してまいります。ご協力よろしくお願致します。



トイレ掃除研修

共習・共育部 部長

南勝 宏幸

昨年、Mランド丹波さき山校は三名の新しいインストラクターとご縁をいただきことができ、創設者の理念でもある「やわらぎの心」を基にして研修を実施いたしました。

研修内容は、Mランドの三種の神器(あいさつ、そうじ、ありがとうカード)についての意義、目的を伝え、自らが体験することで、どのように感じるかを楽しくし、研修を実施いたしました。

今回の研修を実施する中で、何よりも大切にしたことは、想いだけではなく、どのように「表現」できるかということとです。すなわち人や道具、今ある環境に「感謝」できる人になってもらいたいです。

創設者の理念「やわらぎの心」を、研修だけでなく、教習やボランティア活動を通じて、ゲストや地域の方々と共に育めて初めて、この研修の意義があるものになると感じます。

また、私自身もこの研修を通じて初心に戻ることができました。新しい三名の仲間と共にこれからも成長していきます。

西出 周平

掃除の研修を受けさせていただきました。避けられがちなトイレの掃除を徹底的に行えば行うほど、普段からトイレ掃除をしていたら掃除の方により感謝し、改めて汚さないように綺麗に使用していかうと誓いました。

また、姿勢を低くし、角度を変えて見ることで、気づきにくい微細な汚れを見つけることや、異変を発見することは、教習にも通ずるものがあると感じました。



見えない部分まで磨き上げます

隅々まで「磨く」という事は本来こういうことを指すの

だなど気付かされました。自分自身の「心を磨く」ことができ、大切なことを体験できた良い機会となりました。

寺田 隼斗

トイレ掃除の研修に参加させていただきありがとうございました。単にトイレの掃除をするだけではなく、掃除の内容一つ一つに込められた意味や想いを教えていただきながら実施する掃除はこれまで経験がなく、大変勉強になりました。



良い表情をされています

教えていただいたことを実践してみると、新しい気づきも多く、特に毎日使うトイレを綺麗にしていたに感謝の気持ちが生えました。

今後トイレを利用する際は、感謝の気持ちを忘れず

に綺麗に利用していきたいと思えます。

佐古田 翔太

私は人生で初めて「トイレ掃除」の研修を受けさせていただきました。

備品を大切に扱う心構え、貴重な資源である水を無駄遣いすることなく最低限の水で掃除を行う姿勢、さまざまな道具を利用して、表面だけではなく、見えない内側まで磨き上げる徹底ぶり、スポンジやホースの使い方や管理の仕方一つで、長く使えることなど、研修で見聞きしたことすべてが勉強になりました。



説明に真剣に耳を傾ける三名

物を大切に、トイレを綺麗にすることで「心」も綺麗になったように感じ、教習にもより一層真摯に向き合えるようになりました。

新入社員紹介

皆さまはじめまして。

十一月に入社した浦山 朱音と申します。



笑顔で社内を明るくしてくれています

私が、Mランドに入社して一番驚いたことは、「人の温かさ」です。私に通っていた教習所にはない、人と人の距離の近さに最初は戸惑いました。私もあんなふうに話せるようになるのかなど…。最初は自分から話しかけることができませんでした。

これまでの約二カ月間、頼れる先輩方の背中をみながら、ゲストの皆さまと交流していく中で、声をかけていただく温かい言葉に毎日励まされ、今では自分から進んで声を掛けられるようになってきました。

今後は、私自身が感じた「人の温かさ」をゲストの皆

さまに感じていただけるように、笑顔でがんばっていきます。

編集後記

「あけましておめでとうございませう」。新年を迎える度に幾度も使ってきた新年の言葉。特に意味を気にすることもありませんでしたが、なぜか今年言葉の意味が気になり、調べてみました。「年明けを祝う」というより、「無事に過ごせたことを祝う」という意味で使うのが本来の意味だそうです。

大切な命。いづどんな理由で失うかわかりません。一年間無事に過ごせたことに感謝を忘れずに、「あけましておめでとうございませう」と伝えていこうと思います。

前川 昂希

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしませんか？

- 場所 Mランド
- AM8:00~AM9:00

※トイレ掃除のできる服装でお気軽にご参加ください。